

Educational White Paper Material

<以下抄訳となりますので詳細については英語原文をご参照ください>

欧州のプライベート・デット投資環境について；

ダイレクト・レンディングは広義のプライベート・デットの中で、より伝統的な債券との中間に位置する投資対象であると認識しており、非常に魅力的なリスク・リターン特性を持つ戦略であると考えます。

EQT では 2015 年頃からクレジットサイクルの後退局面を意識した運用を手掛けておりましたが、次のファンドのサイクルにおいてはリセッション・景気後退のリスクが一層高まります。このような市場環境を背景に、グローバルに投資家様よりスペシャル・シチュエーション戦略への注目度が高くなっている傾向が感じられます。

欧州の市場環境について；

欧州の市場環境についてご説明する上で、ブレグジットという単語を切り離すことはできません。英国に本社を構える企業へのエクスポージャーについては全体的にネガティブ・慎重なスタンスを取るマネージャーが増えてきております。一方で重要なのはエクスポージャーの有無ではなくそのビジネスがどの地域において最も利益をあげているかという点です。

また各マネージャーとも英国への投資については明確な出口が示されるまで、非常にセレクトイブなスタンスを継続すると考えられます。結果として現在の市場環境においても、英国市場では極端な需給のミスマッチ、マージンの上昇は見受けられません。

現在の投資環境を踏まえたマネージャー選定について；

過去 12~24 カ月の期間において、LP のマネージャー選定基準、フォーカスに大きな変化が見られるようになりました。以前はディールのソーシング、コンバージェンス、ディプロイメントなど、マネージャーがファンド資本をどれだけ早く投資に回すことができるかが問われてきました。各マネージャーの特徴やプロダクトへの理解が深まるにつれ、LP のフォーカスはデューデリジェンスのプロセス、モニタリング手法、リストラクチャリングなど今後数年において予期されるクレジットサイクルの後退局面を意識するものへとシフトしております。

欧州プライベート・デットマーケットの見通し及び EQT の投資戦略について；

シクリカルなビジネスへの投資のバーは非常に高く設定しております。景気後退局面での投資において最も重要なことは、常に新たな投資機会を捉えることができるチーム体制であると考えます。既存のポートフォリオにトラブルを抱えると、非常に多くのリソースをメンテナンスに傾けることとなり、シクリカルなビジネスへの投資はこうしたトラブルを抱えるリスクが一般的に高いと考えられるからです。